



地方港湾 平生港

平生港は、周南工業地域を構成する田布施町及び平生町を背後地とし、瀬戸内海における物資集散の拠点として、古くから栄えてきた港です。

また、立地条件の優位性から、昭和40年代には木材関連企業が相次いで進出し、原木の移入量が大幅な伸びを示し、昭和44年には外国貿易港として開港となり、南洋材を中心とする外材の輸入港として活況を呈しました。

しかし、国際経済情勢の変動の中で、現在では原木から木材半製品の輸入に変わっています。

港湾施設については、臨海部における物流の円滑化を図るため平成6年に平生港を横断する南周防大橋を整備し、また、荷役形態の変化や船舶の大型化に対応するため、平成16年9月より田名地区

に-10m岸壁を中心とする埠頭を供用開始しています。

PRポイント

- ・ -10m岸壁及び-5.5m岸壁を有する田名埠頭
- ・ 国道188号へのアクセスは南周防大橋を利用

| 地区名 | 施設名 | 延長等 | 備考 |
|-------|------------------|-------------|----|
| 田名地区 | 岸壁 (-10.0m) | 170m (1バース) | |
| | 岸壁 (-5.5m) | 100m (1バース) | |
| | 物揚場 (-2.0m) | 60m | |
| 百済部地区 | 物揚場 (-4.0m) | 95m | |
| 戎ヶ下地区 | 物揚場 (-4.0m) | 130m | |
| | 南周防大橋 (W=11.25m) | 350m | |

